

ちばだい プレス

CHIBADAI
PRESS

千葉大学
広報誌

2021

VOL.

56

SUMMER



特集

千葉大学のキャンパスライフ

千葉大生の1日と課外活動紹介

世界に羽ばたく第一歩！

千葉大学の英語教育

千葉大学 OBOGインタビュー

研究室訪問



CHIBA UNIVERSITY

千葉大学の Campus Life

キャンパスライフ
—千葉大生の1日と課外活動紹介—

千葉大生は、どんなキャンパスライフを過ごしているのでしょうか？

それぞれの目標に向かって歩みを進める3人の学生に、
インタビューしてみました。

世界の様々な問題について 真剣に語りあえる仲間がいる

東日本大震災を経験したことからボランティアに興味を持ち、高校3年のときにマレーシアへ海外ボランティアに行きました。この経験が「世界平和のために何かをしたい」という想いにつながり、国際教養学部に進学しました。

理系文系などの学問分野にとらわれず様々な取り組みに挑戦できるのが国際教養学部の魅力です。入学して驚いたのは、自身が思い描く未来に向かって主体的に活動できる仲間がたくさんいたこと。世界の様々な問題について真剣に語り合える仲間とのグループワークは有意義で、自身の考えをまとめるのに役立っています。

多様な価値観を身につけるため 複数の課外活動に挑戦

剣道部をはじめ、ソフトテニスサークル「YELL」、映画サークル「シネマウントフィルムパーティー」、国際教養学部棟前の花壇の水やりを行う団体「LAS GARDEN」などのサークルのほか、学外でも、社会勉強として銀行系のアルバイト、コロナ禍で貧困している学生に食料を提供する「もってけ市」の事務局メンバーとしても活動しています。

剣道部での活動は、筋肉の細部にまでこだわった運動や人格的な学びがあり、自身の人間力を高められると感じています。自分のモチベーションをコントロールする意識も身につきました。

コロナ禍の中ではありますが、大学生活を通して、多様な価値観を身につけたいと考え、複数の活動に取り組んでいます。オンライン授業は、多くの物事を両立したい私にとって時間の融通が利くというメリットもあり、今は全ての活動がスムーズにできるよう計画性を得ることが課題です。

取り組む課題を自ら見つけ、 未来への解決策を考える

西條 未来 (さいじょう・みらい) さん
国際教養学部 2年
宮城県石巻高等学校 出身



とある1日の過ごし方

07:00	起床
08:00	ストレッチなどくつろぎの時間
09:00	食料配布ボランティア活動
11:30	お花の水やりサークル活動
12:00	昼食 (自炊)
13:30	ソフトテニスサークル活動
16:00	オンデマンド授業で学習①
18:00	アルバイト
21:30	帰宅
22:00	オンデマンド授業で学習②
24:00	就寝



Snapshot!
in Campus

アクロバットな動きが特徴的な武道・剣道の練習風景。現在は、週4日2時間ずつ活動しています。

多様な経験を通し 医療人としての視野が広がる

稗田 葉月 (ひえだ・はつき) さん
医学部 4年
筑波大学附属高等学校 出身



医療ボランティアへの参加が 医師としての成長に

医療に興味を持ったのは中学生のときです。小学生の頃からバスケットボールをやっていて、友達や憧れの選手がケガで苦しんでいる姿を見て、漠然とスポーツ選手を支えたいと思うようになりました。高校生のときに自分も膝の手術を経験し、具体的にスポーツドクターを目指すようになりました。

入学当初は、スポーツドクターを目指していた私ですが、大学1年生のときにカンボジアでの医療ボランティアに参加したことで発展途上国の医療にも興味を持つようになりました。当時は私にできる医療行為はほとんどなく悔しい思いをしましたが、「いつか医師になって戻ってこよう」と思いました。

現在は、将来的に英語圏での留学を考え、模擬患者さんを相手に英語で診察する練習を行う「Advanced Medical English」を受講。ネイティブの先生からアメリカの医療体制などについて学んでいます。

医療系の学部を越えた 交流が大きな魅力

千葉大学は医療系の学部が一つのキャンパスに集まっているのが大きな特徴だと思います。医学部・薬学部・看護学部の学生と議論する授業もありますが、何よりも私はサークル活動やバイトで仲良くなる他学部の学生の存在が大きいと考えています。普段の会話から、薬学部生や看護学部生が授業・実習で何をしているのか聞くことはとても勉強になります。

課外活動では、医療系女子バスケットボール部に所属し、昨年春から主将を務めています。コロナ禍で不定期の活動ですが、感染防止策を徹底して行っています。さらに、2020年度亥鼻祭の委員長を務めました。コロナ禍の中でできる最大限の可能性に挑戦し、オンラインでの開催に踏み切り、学長表彰をいただきました。

とある1日の過ごし方

05:30	起床
06:00	勉強・お弁当作り
07:00	Zoomで友達と筋トレ
08:50	講義 (オンライン)
12:00	昼食 (お弁当持参)
12:50	講義・臨床実習
17:00	部活動・バイト・AMEの授業など
20:00	帰宅
21:00	勉強
24:00	就寝



Snapshot!
in Campus

「2020年度オンライン亥鼻祭」の1シーン。VRで再現した亥鼻キャンパスのステージです。

植物の機能や生態に
魅力を感じ園芸学科へ

子どもの頃、田んぼでカエルやメダカを捕まえたり、いろいろな生き物とふれあう機会が多く、生物学に興味を持つようになりました。高校に入り、生物学を選択するにあたって植物の機能や生態をより深く学び「植物ってかなり面白いんじゃないか」と思い至り、植物病理学について研究できる千葉大学園芸学部へ進学しました。

園芸学部では、^{そさい} ^{かき} 野菜・花卉・果樹の栽培をはじめ、病学・昆虫・環境制御・土壌などといった栽培の環境要因についても幅広く学べます。実験や実習も充実していて、2年生の果樹実習ではジベレリンと

いう成長促進ホルモンを使って種なしブドウを作るための処理を行ったのですが、高校時代に授業で学んでいた内容を現場で体験でき、とても印象に残りました。

植物病理学研究室に所属し
大学院での研究を目指す

昨年はコロナ禍によりオンライン中心の授業となりましたが、大学院入試に向けて過去問を解くなどの学習に取り組みしました。

大学院を志望するのは、園芸学科が私の興味の方向性に合っていて深く学びたいと考えたから。中でも、現在所属している植物病理学研究室での研究を続けたいと考えています。研究室では、植物の土壌伝染性の病気に関する研究や病害発生

の条件に関わる研究などを行っており、私自身は *Verticillium* 属菌の宿主決定機構を遺伝学的解析によって解明する研究に取り組んでいます。卒業研究のテーマでもありますが、継続して大学院でも研究を続け、いずれ野菜を病害から守る技術につなげたいと考えています。そして将来は、現在の研究や農業に関わる分野で活躍したいと思います。



Snapshot!
in Campus

シャーレに培地を流し込んで
いるところ。培地には抗生物質
を入れていて、できるだけ研
究対象にしている菌しか生え
ないようにしています。

身近な自然に興味を抱き、
植物と微生物の研究に取り組む

吉田 先利 (よしだ・せんり) さん
園芸学部 4年
青森県立八戸高等学校 出身

とある1日の過ごし方

08:30	起床
10:00	実験
12:00	学食で昼食
13:00	実験に必要な試薬・培地の作成
15:00	ゼミ発表に用いる論文を読む
18:00	アルバイト
22:30	帰宅
24:00	就寝



撮影:松戸キャンパス アカデミック・リンク・センター前

千葉大学の課外活動 | ちょこっと紹介!

千葉大学には200を超える公認課外活動団体があります。
活動の一部をのぞいてみましょう!

セパタクロー部



普段の練習はリフティングのような球蹴り、二人球蹴り、レシーブ、アタック練習、サーブ練習、最後に試合という流れで行っています。監督は
いませんが、学生が仕切り、勝つことと楽しむ
ことの両方を意識して、集中して練習に取り組
んでいます。目標は全国大会で表彰され、実績
を残すこと。2019年には、全日本学生セパタク
ローオープン選手権で3位に入賞しました。



代表:園芸学部3年
花澤 康太さん



代表:理学部3年
齋藤 大河さん

8月まで大学のプールで練習、冬は陸上トレーニ
ングを主に行っています。現在は、朝を中心とした、水
上練習を行っています。練習中は泳ぎについてアド
バイスしあったり、質問したりするなど、互いに切磋
琢磨しています。2019年の東部地区国公立大学
選手権では、男子団体3位、女子団体5位に入賞し
ました。男子は日本学生選手権(インカレ)の団体出
場権獲得、女子は優勝を目指して頑張っています。

水泳部



チアリーディングサークル
LIPS



普段はチアリーディングの基礎となる技
やスタuntsなどを中心に練習しています。
また、大学祭や新歓での公演、部活動の
試合の応援や外部公演などの活動も積
極的に行っています。今年度も例年のよ
うに活動することは難しいですが、今で
できることを考えて精いっぱい楽しもうと思
います。メンバー全員で力を合わせて、チアの
本分である「元気・勇気・笑顔」を皆さん
に届けられるよう、頑張ります!



代表:工学部3年
佐野 ちひろさん

CMC (千葉大学マジックサークル)



代表:法政経学部4年
蓮見 直人さん

メンバーのほとんどが未経験者ですが、
まったくマジックを楽しんでいます。トラ
ンプやフォーク曲げ、鳩を使ったマジック
など、いろいろな手品を練習しています。
テーブルマジック・ステージマジックの学
生コンテストでの受賞実績もあります。
例年、地域の方などに向けてマジック
ショーを定期的開催していたので、対
面でのショーが困難であってもオンライ
ンなどで披露の機会を作れるよう積極
的に活動していきたいと考えています!



千葉大学ギタークラブ



ギタークラブでは、クラシックギターを用
いて合奏や独奏をしています。主な活動
は定期演奏会や大学祭に向けた練習で
すが、普段でも各々が自由に集まって好
きな曲を好きなだけ練習しています。
12月には定期演奏会があります!対面
開催になるかオンライン開催になるかは
未定ですが、ぜひ見に来てください!



代表:園芸学部3年
鈴木 遼さん

千葉大学では、2020年4月より英語教育をこれまで以上に大きくパワーアップ!
日常会話に使えるコミュニケーション英語と、論文作成や学会発表に役立つ
学術英語の両方の学習を強力にサポートします。



特別語学講師による英語教育



新カリキュラムでは、国籍も様々な英語教育のプロによる実用的な授業を受けることができます。

Critical Thinking and Popular Culture 1



国際未来教育基幹
Richa OHRI先生

この授業は映画、音楽、SNSなどのPopular Culture (大衆文化)を通じてクリティカルシンキングを育むことを目的としています。Popular Cultureにおける人種やジェンダー、アイデンティティなどに着目し、ジェンダーロールや家族観、人種のステレオタイプなどの凝り固まった考え方を解きほぐす糸口を探ります。
授業では日本語・英語の両方を使用し、一つの事柄に対してなるべく多様な観点を紹介することや学生同士のグループディスカッションを多く取り入れています。

受講生の声!

差別問題・民族問題は常に身近にあり、そこからマイノリティ問題や社会問題について興味を持つようになりました。先生や学生が話す多角的な言葉から多くの気付きを得られ、自身の考えを他人に話すことで改めて思考を整理できます。意欲が如実に学びに反映されるので、常に全精力を注いで参加しています。

キム テヨン
法政経学部 1年 金 泰瑛さん



「ジョーカー」などの映画を取り扱うということでこの授業に興味を持ち、コロナ禍で対面でのディスカッションなどができる授業は貴重だと思い受講を決めました。答えのない問題に対して自分は向き合おうべきなのか悩むこともありますが、ディスカッションを通して自分以外の人たちの考えに触れることがとても新鮮で毎回の講義がとても楽しいです。

かどしま
法政経学部 1年 角島 さくらさん



Discussion



国際未来教育基幹
Robert WERNER先生

この授業では、英語でのディスカッションスキルを向上させるための考え方や話し方を学びます。授業はすべて英語で行い、毎回様々なトピックスについて、自分の意見を相手に伝えるために必要な語句や語法を練習し、その後少人数のグループをつくり討論する時間を設けています。

受講生の声!

初めて授業に出席したとき、高校までとは違う英会話中心の授業であると分かり大変興味を持ちました。文法的には同じ英文であっても、アクセントやイントネーションを変えることにより意味を使い分けられるという内容を学び、実践で非常に役に立つと思いました。また、学生同士の討論の中で、自分の言いたいことが伝わり達成感を感じます。

なりた ゆう
工学部 1年 成田 優さん



これまではリーディングやリスニング・ライティングを主に勉強してきましたが、スピーキングは経験が少なく上手くできませんでした。そこで、Discussionで実践して学ぼうと思い受講しました。議題に対して自分の考えを明確に表現することは難しいですが、この授業を通じて自分の考えをまとめる力を身につけたいです。

すなかわ ふ き
工学部 1年 砂川 扶葵さん



英語の学びを深める様々な取り組み

ウェブ教材を活用した「CALL」のオーダーメイド教育

「CALL (Computer Assisted Language Learning)」とは、千葉大学で開発したリスニングと語彙のウェブ教材を活用した英語科目のことです。授業では1人1台のパソコンを使用し、学生の習熟レベルと興味に合った教材をそれぞれのペースで進めます。動画を通して生きた英語を楽しみながら、正確に、そして深く聞き取ることで、英語コミュニケーション能力の向上を目指します。

大学院国際学術研究院
たけふた じゅんこ
竹蓋 順子先生



CALLで使っている教材は、約30年にわたる基礎研究と学際的アプローチにより構築された独自の指導理論に基づいて開発されています。もともと1万名以上の千葉大生から支持されてきた教材ですが、自宅でも有意義な学習が可能であることから、コロナ禍においてそのニーズはますます高まっています。
リスニング力を養成するとスピーキングやリーディングの力も伸びていき、語彙力を高めると英語総合力が伸びていきます。CALLでの学習を通して英語力の地盤を固めていきましょう。

受講生の声!

全員が同じ教材を使うのではなく、それぞれのレベルに合わせた教材を自分のペースで学習できるので、順調に英語力を高めることができます。教材用の英語ではなく、アメリカで収録されたネイティブの英語を使用しているため、本番で使えるリスニング力を身につけることができそうです。

教育学部 1年
うちぼり ゆうと
内堀 雄斗さん



ネイティブの英語を聞けるため、リスニング力はもちろんジェスチャーなどの能力も身につく貴重な教材だと思います。また、自分のレベルに合わせた学習ができるので、自宅でも毎日続けられるのも大きな魅力です。

教育学部 1年
おおつ こうすけ
大津 晃祐さん

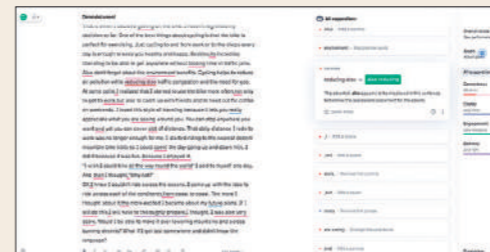


英文執筆のためのサポート



英作文に役立つ!

英文ライティングチェックツール「Grammarly」



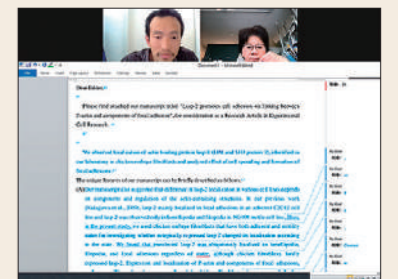
「Grammarly」とは、英作文や英語の論文における文法、スペル、語彙の適切さ、剽窃などを自動でチェックしてくれるオンラインツールです。千葉大学の学生・教職員であれば誰でも利用することができ、メールや論文など、目的別に適切な表現を提案してくれます。

学術的な発表や論文を書くときは...

アカデミック・リンク・センターによる Academic English Consultation

学生や教職員が執筆・作成した、学術的な英語の成果物(論文・学会発表スライド・口頭発表用の原稿など)に対して、ネイティブかつ博士号を有する専門講師から「文法チェック」や「学術的な英語表現についてのアドバイス」を個別に受けられます。

オンライン会議システムの画面共有機能を利用し、講師と利用者の双方で原稿を確認しながら、対話形式での相談を行うことができます。



カウンターテナー歌手・オペラ演出家として
ジャンルを超えて幅広く活躍している彌勒忠史さん。
教員や歌舞伎役者を志したエピソード、
コロナ禍で公演が中止になるなかでの模索、
千葉大学時代の思い出などを語っていただきました。

クラシック音楽やオペラで 表現者として活動する

—カウンターテナー歌手とはどのような仕事ですか。

彌勒 カウンターテナーというのは、ファルセット(裏声)で歌う男性歌手の総称とされていますが、同じカウンターテナーのなかでもいろいろな音域があって、私の場合は音域がメゾソプラノなので、正しくは男性メゾソプラノ歌手になります。仕事の内容は、クラシック音楽のコンサートやオペラに出演することが中心です。新型コロナウイルス感染症の影響で現在は公演がなくなっていますが、幸いテレビやラジオに出演する機会をいただいているので、多くの方にクラシック音楽やオペラの魅力をお伝えできるよう心掛けています。最近では、演歌歌手の方と共演させていただくなど、これまでクラシック音楽やオペラにあまり関心のなかった方にも知っていただく機会が増えてきました。

—演出家としての仕事について教えてください。

彌勒 私の場合は、演出といってもオペラに特化しています。オペラというのは、作曲家が台本を解釈したうえで曲が付けられているので、演出家は違う解釈を提示するのではなく、作曲家の解釈を理解し、それをどのような世界観で見せるのが勝負です。オペラは西洋発祥なので、キリスト教の影響や時代背景など、日本とは文化基盤が違います。そうしたなかで、日本のお客様に楽しんでいただくには、私自身も理解を深める必要がありますし、能の舞台を使ったり、和のテイストの衣装にしたりといった工夫をして、なるべく親しみやすく、間口を大きくするよう努めています。本家のオペラも、最初はイタリアの宮廷から始まったものが次第に開かれたものに育っていきました。日本でも日本ならではのオペラが育つといいと考えています。

多くの人に劇場に来てもらえるよう クラシックやオペラの裾野を広げる

—コロナ禍での活動はいかがですか。

彌勒 コン서트もオペラも見に来ていただくのが一番なのですが、公演が開催できなくなり、無観客オンライン配信なども模索しています。オンライン配信の良さは、普段はクラシック音楽やオペラに触れる機会のない層にも気軽に知っていただけたり、コメント欄などを通じて視聴者同士のコミュニケーションが生まれやすくなることです。ライブがベストではあっても、「生の公演じゃないからできない」と考えるのではなく、コロナ禍が収束したら劇場に足を運んでいただけるよう、今はしっかり裾野を広げておく時期なのかなと考えるようになりました。

—音楽との出会いについて教えてください。

彌勒 母がクラシック音楽を好きだったり、ジャズが好きな親



イタリア歌劇に魅せられて表現者の道へ。
クラシックやオペラの魅力を多くの人に届けたい。

カウンターテナー歌手／オペラ演出家

彌勒忠史さん

彌勒 忠史(みろく・ただし)

千葉大学教育学部、同大学院教育学研究科修了後、東京藝術大学声楽科を卒業。国内外のコンサートやオペラのほか、テレビやラジオなどにも出演、歌舞伎や能などの他分野芸術とのコラボレーションにも積極的に参加するなど、幅広く活躍中。平成24年度、第63回芸術選奨文部科学大臣新人賞の音楽部門を受賞。

戚がいたり、子どものころから多様な音楽に触れる環境だったので、自然と音楽に親しんでいました。中高生時代にはバンド活動をしたり、自作曲のコンクールで賞をもらったり、音楽漬けの日々でした。当時、ファンクミュージックやジャズトランペット奏者の日野皓正さんの影響で管楽器を始め、高校の吹奏楽部に入部しましたが、目標だった全国大会に出場できなかった悔しい思い出があります。このとき、「教員になって吹奏楽部の顧問として母校を全国大会で優勝させたい」と思ったことが、千葉大学の教育学部に進学する理由になりました。千葉大学で教職を取り、大学院で教育学の修士を取りましたが、その後は東京藝術大学に入学し、結局は歌手になったので、母校の吹奏楽部を優勝させるという夢は果たせなかったのですが(笑)。

人生に無駄なことはない だから好きなことに挑戦してほしい

—千葉大学時代の思い出をお聞かせください。

彌勒 日本の伝統文化を研究する授業の一環で歌舞伎を見て衝撃を受けました。授業の名目で毎日のように歌舞伎座に通い、一時は歌舞伎役者になりたいとまで思ったこともあります。歌舞伎は世襲や名跡の世界なので断念しましたが、表現者になりたいと思ったのはそれからです。その後、偶然テレビで過去のイタリア歌劇団の映像を見る機会があり、クラシックやオペラの演者を目指すきっかけになりました。サークルは、少林寺拳法部に所属していました。格闘技や武道というのは、人体の使い方を重視するので、声を楽器にする歌手という仕事にも役立っています。

—最後に、学生へのメッセージをお願いします。

彌勒 私がこれまでの経験からはっきりといえるのは、人生に無駄なことなどないということです。実をいうと、東京藝術大学への進学を決めたとき、千葉大学での学生生活が無駄だったのではないかと悩んだことがあります。けれども、今振り返ると決してそんなことはないんです。教育学部ではクラシック音楽を体系的に学べましたし、サークルでの武道の経験も呼吸法や体の使い方に生きています。歌舞伎にハマった経験もそうです。オペラの演出をする際にも参考になりますし、歌舞伎、能、オペラのコラボ公演「源氏物語」では、歌舞伎好きを公言していた私に目を留めていただき、出演する機会を得ることができました。皆さんも自分が興味を持ったことにはどんどん挑戦して、経験値を高めていってください。



彌勒さんが演出したオペラ「カーリユー・リヴァー」。舞台美術や衣装などに和のテイストを取り入れた独自の世界観が高く評価されている。

2020年10月18日、公益財団法人横須賀芸術文化財団主催、よこすか芸術劇場

サステイナブルな社会の実現に向けた 政策を提言

千葉大学 大学院社会科学研究院

政治学・政策学研究部門 倉阪研究室



倉阪 秀史(くらさか・ひでふみ)〈右から5人目〉
千葉大学大学院社会科学研究院教授。環境ISO学生委員会顧問。東京大学経済学部卒業後、1987年から11年間、環境庁(現・環境省)で環境政策に携わる。1998年に千葉大学に助教授として赴任、2008年から教授。

人口減少や環境問題など、様々な社会課題のなかで、今後の社会の持続可能性を高めるための研究を行っている倉阪秀史教授。その研究成果やゼミの内容、千葉大学環境ISO学生委員会での活動などについて話を伺いました。

大学時代に師事した宇沢弘文先生の著書『社会的共通資本』の影響が少なくありません。また、環境庁時代に環境基本法や環境影響評価などの法案づくりに携わったことや、千葉大学で長年続けている自治体の再生エネルギーの実態研究も、現在の研究のベースになっています。

ゼミでは学生にどのようなことを教えていますか

未来カルテや脱炭素研究と同様の手法で、社会調査を通して実態をつかみ、どのような政策が必要かを考えています。単に検討するだけで終わるのではなく、最終的に必ず政策提言の形にするのがポイントです。成果は千葉大学が主催するSDGs日本政策学生研究会で発表するほか、記者発表をすることもあります。

千葉大学環境ISO学生委員会の顧問もされていますね

学内の環境マネジメントシステムを運営する環境ISO学生委員会を立ち上げたのは2003年です。2004年から国立大学

法人に移行することを機に、当時の磯野学長から大学として環境マネジメントの国際規格「ISO14001」の取得を目指すとの提言があり、私から学生主体で取得してはどうかと提案したのがきっかけです。学生主体とすることで実務教育としても機能しますし、光熱費の大幅な削減、SDGsへの貢献といった効果もあり、教育プログラムとして国際的な賞もいただきました。2009年からはNPO法人としても活動しています。

最後に学生へのメッセージをお願いします

世の中は変えることができるという認識を持ってほしいと思っています。私がゼミやワークショップで政策提言にこだわっているのも、社会をより良くするという想いがあるからです。各自が各自の立場で世の中に対する働きかけをできる社会になれば、少しずつでも改善していく可能性が高まります。そんな社会を担う人材として巣立ってってください。

取り組んでいる研究について教えてください

持続可能性の経済学について研究しています。人口減少が進むなか、社会の持続可能性を保つには、地域の資本基盤の質を維持することが重要になってきます。こうした資本基盤をいかにマネジメントするかを考える手掛かりとして、人口減少や高齢化に対して何も手を打たなかった場合の2050年の予測を提示する「未来カルテ2050」を公開しました。未来カルテは全国の1,741自治体について、コードを入力すると自治体ごとのデータを見ることができ、ダウンロードは3万件を超えています。

自治体職員や中高生を対象とする「未来ワークショップ」では、この未来カルテを活用してあるべき未来像を実現するために今から何をすべきかを考え、「未来市長」の立場から政策提言を行っています。

脱炭素社会の研究もされていると聞きました

人口減少への対応同様、地球温暖化もこのまま放置するわけにはいかない課題です。政府から2030年までにCO₂排出量46%減という目標が発表されていますが、地球温暖化を抑制するには、さらに2050年ごろまでに排出量ゼロを目指す必要があるとされています。そこで、各自治体の基

礎データをもとに2050年の脱炭素戦略をシミュレーションする「脱炭素戦略検討支援ツール」というものを開発中です。2050年の未来像という点で未来カルテとリンクしていて、こちらの研究でもシミュレーターを用いたワークショップを開催しています。

こうした研究の基礎になっているのは何でしょうか

私が学生だった1980年代にエコロジーという概念が目目されるようになって、私も大学時代にはエコロジーサークルを立ち上げて、環境関連の読書会をしていました。先ほどの資本基盤という考え方は、私が



上:倉阪ゼミでは研究テーマを学生が自分で選ぶ。学生同士のディスカッションも活発。学生からは「テーマによっては紛糾するくらい真剣な議論になる」「議論を通して社会調査の手法が共有できる」「各自のテーマ同士がリンクすることもある」といった声も。

左:環境ISO学生委員会の授業。環境ISO学生委員会の活動は、一般教養科目の「環境マネジメントシステム実習」として単位化されている。



西之表市で開催された未来ワークショップの様子。参加することによって、地域の課題をもっと知りたい、課題解決に貢献したいと思うようになった参加者が多い。

7月刊行の新著『持続可能性の経済理論—SDGs時代と「資本基盤主義」』(東洋経済新報社)は、持続可能性を取り扱える経済理論の枠組みを示す内容となっている。



INFORMATION

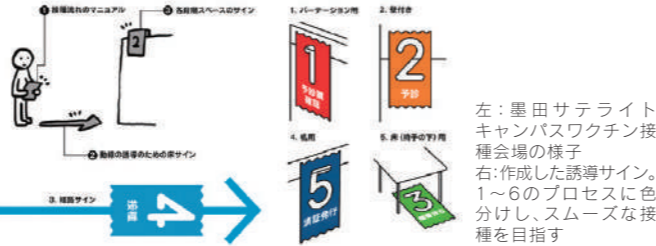
墨田サテライトキャンパスを新型コロナウイルスのワクチン接種会場として提供

墨田サテライトキャンパスは、墨田区の新型コロナウイルスワクチン接種会場として活用されています。

接種会場では、被接種者がスムーズに安心して接種を受けられるように、デザイン・リサーチ・インスティテュートの張益準准教授が監修した誘導サインを設置しています。



このサインは、視覚伝達デザインの知見を活用して作成しています。「①個人用のマニュアル」「②動線の床サイン」「③各スペースのパネルサイン」の3種類で構成され、ワクチン接種に共通する基本プロセスを6つの色と番号で表現することで、被接種者を会場入室から退出までサポートし、会場内の密集・密接を生まないよう工夫されています。



左：墨田サテライトキャンパスワクチン接種会場の様子
右：作成した誘導サイン。1～6のプロセスに色分けし、スムーズな接種を目指す

INFORMATION

日本貿易振興機構(ジェトロ)と包括的連携推進協定を締結

千葉大学と独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)は、国際産学連携、大学発スタートアップ支援などを通じたイノベーションの共創と高度グローバル人材の育成・活用を柱にした包括的連携推進協定を5月17日付で締結しました。

今後、本学の強みとなる研究分野での連携のほか、学内に「ジェトロデスク」を設置し、学生・教職員の国際産学連携をサポートします。



中山学長(左)と佐々木伸彦理事長(右)

EVENT

生活に困窮する学生へ「食の支援」をいただきました

3月30日、31日の2日間、千葉県協同組合提携推進協議会の呼びかけに参集した県内の団体からのご支援のもと、千葉大生への「食の支援」が行われました。受け取り時間を事前予約制にするなどの感染対策を徹底し、参加した学生は支援者と楽しく会話を交わしながら、用意された食料などを一つ一つ受け取りました。新型コロナウイルスの影響により、依然としてアルバイト収入が減少し生活に困窮する学生が多いなか、千葉県産米をはじめ、たくさんの食料を手にした学生からは、喜びの声があがりました。

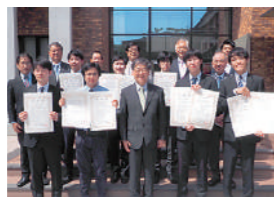


およそ1,000名の学生が参加し、袋いっぱいの食料を持ち帰った

EVENT

第18回なのはなコンペ2021(学生版)を開催

学術研究・イノベーション推進機構(IMO)は、「第18回なのはなコンペ2021(学生版)」を開催し、5月14日に表彰式を行いました。本コンペは、本学大学院生のベンチャー・スピリットを高めることを目的として研究アイデアを公募し、特に優秀なビジネスアイデアに対して、実現へ向けた助成を行うものです。アントレプレナー教育を担う教員と、産業界で活躍されている本事業の後援者様のビジネス視点での審査を経て、優秀な研究アイデアには「なのはな賞」、各後援者様より奨励する「特別賞」が贈られました。



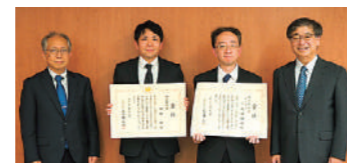
中山学長(中央)、受賞学生、後援者様との集合写真

AWARD

教職員2名が科学技術分野の文部科学大臣表彰を受賞

大学院工学研究院 下馬場朋禄教授と理工系総務課技術グループ 関根雅技術専門員が令和3年度科学技術分野の文部科学大臣表彰を受賞しました。

対象となった業績は、科学技術賞 研究部門「計算ホログラフィの高性能化に関する研究」(下馬場教授)、研究支援賞「医工高度試作開発サービス構築を通じた研究教育社会への貢献」(関根技術専門員)です。5月20日に中山学長から表彰状の伝達と懇談が行われました。



左から藤江理事、関根技術専門員、下馬場教授、中山学長

INFORMATION

千葉市・足利市の市制100周年記念ビールを共同で醸造

大学院理学研究院 萩原学教授と有志の学生が、キャンパスのある千葉市内の醸造所である幕張ブルワリー、潮風ブルーラボの2社と共同でつくりあげた、千葉県千葉市と栃木県足利市の市制100周年を記念する限定クラフトビール「あしたのみち」(足楽味干)が7月1日より販売されます。

足利市内の企業から提供された押し麦を使用。ビールの仕込み、ラベルデザインに、学生が携わっています。

売り上げの一部は足利市山林火災支援および千葉大学基金に寄付されます。



https://www.chiba-u.ac.jp/others/topics/info/_100.html

もっと知りたい千葉大学

50年使われた稲毛寮の解体

稲毛区小仲台に1965年に建設され、2016年3月に閉寮された稲毛寮が、この夏に解体されます。1部屋に2名が住み、定員は208名でしたので、50年で10,000名近い学生が青春の日々を過ごしたことになります。壁には落書きやシールなど当時の生活のあとが色濃く刻まれています。1990年代までは寮祭が行われ、手作り神輿や仮装行列が駅周辺まで練り出し、町の名物行事だったそうです。(大学院国際学術研究院 見城悌治)



稲毛寮外観

OBOG MESSAGE

大地の恵みを社会に K&Oエナジーグループ株式会社 石渡 直尚さん

千葉大学の思い出

難しい授業に苦労したこと、土曜の午後にメーカーのエンジニアの方の授業があり、とても興味深い内容であったことを思い出します。カスティリアーノの定理など今でも夢に出てくるほど印象に残っています。入社後も業務や資格取得のため当時の教科書を読み返すことが何度もあり、大学で得た知識は貴重です。

現在の仕事について

関東天然瓦斯開発(株)で国産資源である天然ガスとヨウ素の営業に携わっています。天然ガスは千葉県内に主として都市ガス用として販売しています。ヨウ素は医療用、殺菌・防カビ剤原料、工業用触媒、液晶関連等多方面で活用されていますが、その多くは原料として欧米、アジアなど海外に輸出され、製品化されています。そこでこの構図を変えるべく、国内での高機能ヨウ素製品の開発を目指して設立されたのが千葉大学にある「千葉ヨウ素資源イノベーションセンター(CIRIC)」です。

天然ガス、ヨウ素は日々の暮らしを支える資源であり、適材適所で活用されるよう、自社とお客様を結びつけるとともに、お客様の抱えている課題を解決に導くことでお客様に喜んでいただける営業の仕事にはやりがいを感じています。

学生の皆さんへ

千葉県の大学に通われている皆さまには、ぜひ、千葉県に貴重な地下資源があることを知っていただければと思います。未来を担う国産資源の開発・供給に夢や使命感を感じる皆さま、新たな事に積極的にチャレンジしたいと考える皆さま、K&Oエナジーグループでポテンシャルを発揮してみませんか。



ヨウ素の販売計画策定のための「ヨウ素販売戦略会議」の様子



関東天然瓦斯開発(株)営業部 部長

石渡 直尚
(いしわたり・ただよし)
1992年3月 工学部機械工学科卒業
1994年3月 大学院工学研究科機械工学専攻修了
1994年4月 入社

K&O エナジーグループ株式会社

<http://www.k-and-o-energy.co.jp/>

K&Oエナジーグループは、千葉県で水溶性天然ガスを開発・生産する関東天然瓦斯開発(株)と、その天然ガスを都市ガスとして供給する大多喜ガス(株)を中心に事業を行っています。天然ガスを生産する際に汲み上げた地下水からは、ヨウ素も生産しています。ヨウ素は資源小国である日本が世界に輸出できる数少ない貴重な資源です。



■本誌 vol.54掲載「対談 田村憲久厚生労働大臣×横手幸太郎千葉大学医学部附属病院院長」において、誤りがございました。田村憲久厚生労働大臣のご略歴、「祖父である衆議院議員・田村元氏」とあるところ、正しくは「伯父である衆議院議員・田村元氏」です。以上のように訂正し、ここに謹んでお詫び申し上げます。



CHIBA TOMO NEWS

千葉大学マスコット「ニシ」、「イノ」、「マツ」より
ニュースをお届けします！

vol.05

CHIBA TOMOものがたり 9時限



ニシ マリンスポーツといえばバナナボートだったが、サーフィンにも興味が出てきた。
イノ 新たな趣味としてサーフィンを始めた。まずは泳げるようにならなければ。
マツ 実はサーフィン上級者。ビッグウェーブを求めて海外に行くことも。

CHIBA TOMO とは…
2019年に千葉大学に誕生した、3つのキャンパスをかたどったマスコット、うさぎの「ニシ」、かもの「イノ」、さいの「マツ」の3人組。

2020年度の思い出

感染対策を呼び掛けるステッカーになったよ!

学生みんなに情報リテラシーを呼び掛けるリーフレットにも登場!

感染予防にご協力をお願いします
PRACTICE SOCIAL DISTANCING TO KEEP YOURSELF AND OTHERS SAFE

机や椅子の使用を制限しています
Some seats are blocked for social distancing.

CHIBA TOMOグッズが仲間入り!

守ろう!!
情報セキュリティのルール!

いろいろな動画にも出演しました。

特設サイト「WEB OPEN CAMPUS」では西千葉キャンパスツアーに参加!

エコイベントの動画で作品例を紹介!

健康診断の受け方をニシが案内!

健康診断の流れ

別室にたずさわらないで、また必ず手消毒をお願いします。

入学式や卒業式・修了式のときには、各キャンパスでお祝いしました。

千葉大学 キャンパスツアー 西千葉キャンパス

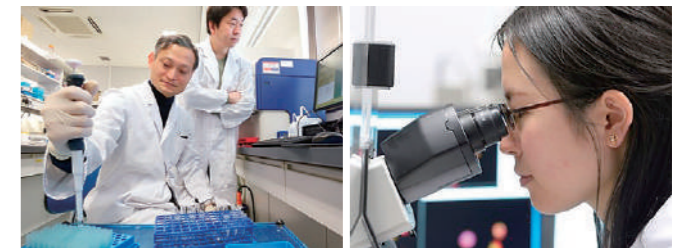
皆様からのご支援で 世界を牽引する最先端の医学研究の発信へ!!

医学部・大学院医学研究院では、疾患の予防や先端の医療の開発を目指し世界をリードする研究を行っています。皆様からのご厚志によるご寄付を活用させていただくことで、最先端の治療発見や創薬へとつながることが期待されます。

2020年度 皆様からのご寄付合計
207,220,101円

これまでにない、 あっと言わせる研究に挑戦

いただいた寄付金をもとに2021年度より、難病の治療など、これまでにない医療の研究開発を推進するために「千葉大みらい医療基金助成事業」を開始しました。今後の未来を切り拓く革新的な医学研究を対象に、皆様からのご寄付を活用します。



■ 顕彰制度

感謝の気持ちを込めて、寄付金額に応じて医学部の新拠点である医学系総合研究棟の4階ラウンジにてご芳名を刻印した銘板の掲示や記念品の贈呈をさせていただきます。



寄付者顕彰銘板

記念品

謝意	個人	法人
新医学部棟講義室命名権	1,000万円～	1,000万円～
クリスタルプレート	100万円～	500万円～
銘板(大)の掲示	100万円～	500万円～
銘板(中)の掲示	50万円～	200万円～
銘板(小)の掲示	10万円～	50万円～
ペーパーウェイト	3万円～	10万円～
ご芳名のHPへの掲載	希望者全員	希望者全員

■ 税制上の優遇措置

- ① 個人のご寄付 …… 所得控除の対象となります。
- ② 法人のご寄付 …… ご寄付は全額を損金に算入可能です。

ご寄付のお申し込み方法

- ① 銀行・ゆうちょ窓口でのご寄付 ▶ 下記基金室へご連絡いただくか、当基金ホームページお問合せフォームよりご連絡ください。資料を送付いたします。
- ② クレジットカードでのご寄付 ▶ 当基金ホームページよりお手続きいただけます。
- ③ 遺贈によるご寄付 ▶ 提携銀行と遺贈に関する協定を締結し、遺贈・相続財産によるご寄付を承っております。詳細は基金室までご連絡いただきますようお願い致します。

千葉大みらい 医療基金

千葉大学大学院医学研究院・医学部

住所 〒260-8670 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

電話 043-226-2286 メール chiba-medio-funds@chiba-u.jp

ホームページ <https://www.mirai-fund.chiba-u.jp/> 千葉大みらい医療基金



INDEX VOL.56

02 千葉大学の CampusLife

千葉大生の1日と課外活動紹介

西千葉、亥鼻、松戸、それぞれのキャンパスの学生の日常を紹介。
 さらに、5つの公認団体の代表が課外活動をアピール!



05

06 世界に羽ばたく第一歩! 千葉大学の英語教育

英語でのコミュニケーションから論文作成、学会発表までを意識した、
 新しい英語教育のカリキュラムやサポートを紹介します。



06

08 千葉大学 OBOG インタビュー

大学院教育学研究科修了を経て、表現者の道へ
 クラシック音楽の世界で活躍する、カウンターテナー歌手が登場!



08

10 研究室訪問

様々な社会問題を研究し、持続可能な社会の実現を目指す!
 ー千葉大学 大学院社会科学研究院 政治学・政策学研究部門
 倉阪研究室 倉阪秀史 教授ー



10

12 TOPICS / もっと知りたい千葉大学

14 CHIBA TOMO NEWS

ちばだい
プレス CHIBADAI
 PRESS
 千葉大学
 広報誌

編集・発行 / 千葉大学 広報室

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号

TEL: 043-251-1111(代表) E-mail: koho-hp@office.chiba-u.jp

ご意見・ご感想をお寄せください

www.chiba-u.ac.jp

[表紙(左から)]

吉田 先利 (よしだ・せんり) さん
 園芸学部 4年

西條 未来 (さいじょう・みらい) さん
 国際教養学部 2年

稗田 葉月 (ひえだ・はつき) さん
 医学部 4年



学生生活を送っている3人の学生が表紙です。特集では、西條さん、稗田さん、
 吉田さんそれぞれの1日のスケジュールや授業・課外活動、今、興味のあること
 など、千葉大生のキャンパスライフを紹介します。千葉大生の等身大の姿を
 のぞいてみませんか?

(撮影: 西千葉・亥鼻・松戸キャンパス)